



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

「全校ソーラン」実施の詳細が決定しました

六中の伝統を受け継ぎ、生徒全員で一体感を高めていこう！

10月2日（土）に実施した運動会では、直前まで緊急事態宣言が発令していたために学年を越えた練習を行うことができず、そのため六中伝統の「全校ソーラン」を行うことができませんでした。

運動会では、色別の縦割り学級に対して学年を越えて声援を送るといった微笑ましい姿が数多く見受けられました。また、10月31日（日）に行われた学習発表会（合唱コンクール）では、「六中だより第15号」でご紹介した生徒の振り返りにあったとおり、縦割り学級で互いに練習を見合ったり、アドバイスをもらったりして受けた大きな刺激を学級のモチベーションアップにつなげた事例が数多く見受けられました。

中学校では、先輩から後輩にバトンをつないでいくということが大きな役割をもっています。特に本校では、1年次にはとても偉大に見えた先輩の姿を追い求めて集団で努力を重ねていくうちに、最終的にはその目指す姿を越えることができたということが大きな強みとなっています。「伝統は、守るものではなく書き換えるもの」と言われますが、まさにその通りの営みが、それぞれの学年のカラーを生かす形で脈々と受け継がれ、学校全体としての進化につながっていることを実感しています。

「全校ソーラン」は、全校生徒が同時に取り組み、同じ瞬間を共有するという点で、物事に全身全霊を傾けて取り組み、それぞれが自分の持てる力を最大限に発揮して心をつなげて団結する素晴らしさを肌で感じられる貴重な機会ととらえています。「全校ソーラン」を通じた六中生全員の「協力・信頼・団結」の姿が、今後の生活に向けた大きな活力の源となることを願っています。



また、当日は「全校ソーラン」の後に生徒会主催による「3年生受験激励会」を実施します。これは例年1月に「3年生への受験応援メッセージ贈呈」として実施していたものですが、昨年度は感染症の影響により全校生徒がアリーナに集まることができず、残念ながら各教室を訪問する形で行ったものです。

今年度もなかなか先が見通せない状況が続いていますので、全校生徒が「全校ソーラン」で心をつなげる機会を生かし、1・2年生が3年生にエールを送りたいと企画しました。詳細については裏面にお示ししておりますので、平日の実施で誠に恐縮ですが、「全校ソーラン」とあわせてご参観いただければ幸甚に存じます。

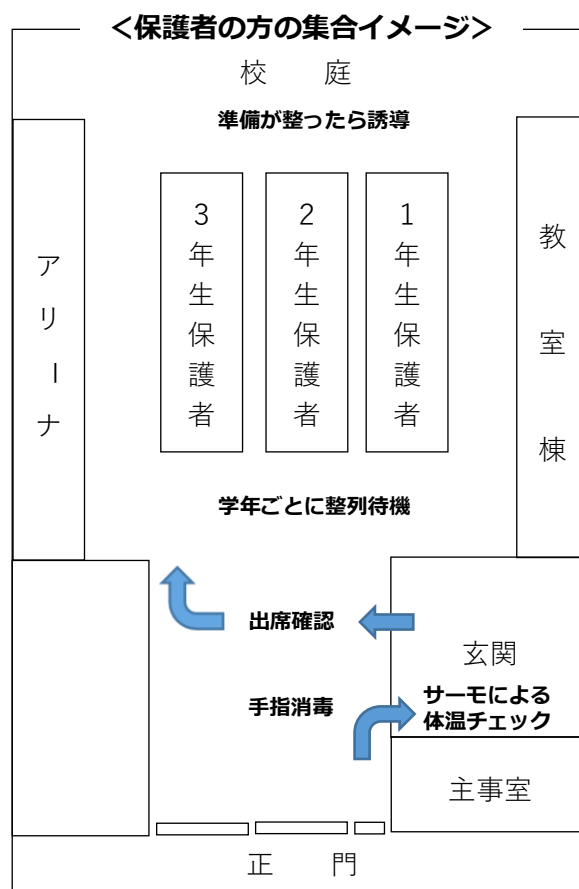
「全校ソーラン」「3年生受験激励会」について

1 日 時	令和3年12月23日（木）
	13:15 参観希望保護者集合 ＜中庭に整列（学年別）＞
	13:25 観覧指定場所に移動
	13:30 全校ソーラン
	13:45 3年生受験激励会
	14:00 終了

【雨天時】	令和3年12月24日（金）
	9:40 参観希望保護者集合 ＜中庭に整列（学年別）＞
	9:50 観覧指定場所に移動
	9:55 全校ソーラン
	10:10 3年生受験激励会
	10:25 終了

2 場 所 第六中学校 校庭

- 3 その他
- (1) 前々日にフェアキャストで参観の意向確認を行いますので、ご協力ください。
 - (2) 会場の都合上、参観については各ご家庭1名とさせていただきます。
 - (3) 参加される保護者の方は、感染症対策における問題がないことをご確認ください。また、ご来校の際は、マスクの着用と保護者証の携行、玄関でのサーモグラフィーによる体温チェックと手指消毒にご協力ください。
 - (4) 駐車スペースがございませんので、自家用車・自転車等でのご来校はご遠慮ください。
 - (5) オンライン配信については、これまでの実施状況を踏まえ、現在の機材では十分な質のライブ中継を行うことは難しいと判断し、誠に恐縮ですが今回のライブ配信は行わないこととします。当日は3方向からビデオ撮影を行い、映像確認及びアップロードの準備ができ次第、YouTubeによる録画映像の限定配信を行いたいと考えています。なお、具体的な配信方法については、配信の準備が整い次第、フェアキャストでお知らせしますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



「防災引渡し訓練」の実施について

3学期始業式[1月11日(火)]の午前11時より実施いたします。

毎年、文京区では9月1日に幼稚園、小学校、中学校で一斉に「防災引渡し訓練」を実施していますが、今年度は感染症の状況をとらえ、1学期のうちに中止を決定しました。本校では、訓練の重要性をかんがみ、独自での実施を計画しましたが、夏季休業日中に感染者数が激増したことを受け、やむなく延期としたところです。

今般、緊急事態宣言の解除を受けて、3学期の始業式を行う1月11日（火）に本校独自の「防災引渡し訓練」を実施することにしました。詳細については、終業式の日配布するプリントをご参照ください。お正月、そして3連休明けの日となりますが、「非常時」に備えた訓練ですので、保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

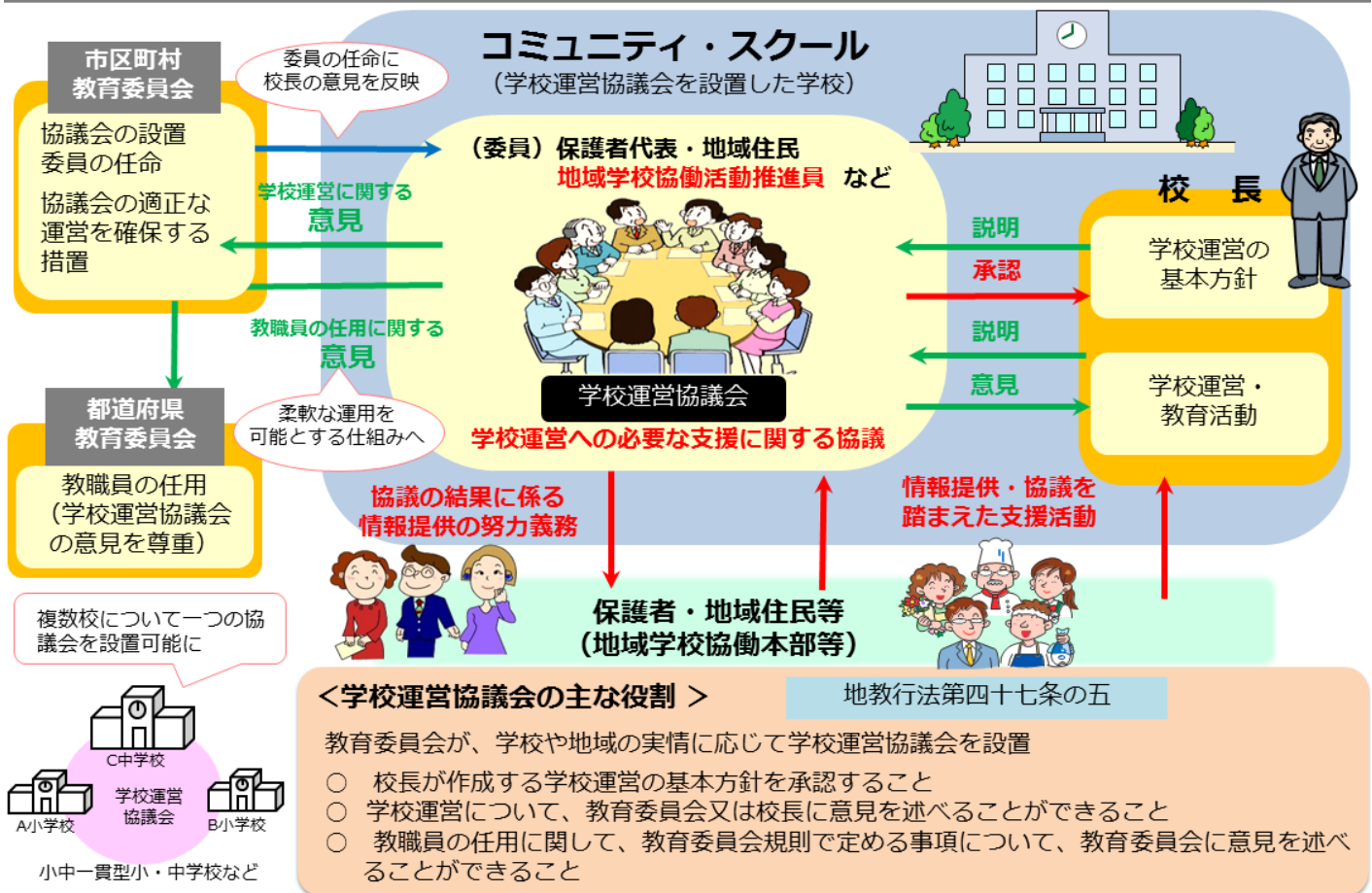
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）がスタートしました

本校では、今年度よりコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の指定を受けることにしました。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、ビジョンや目標を共有し、地域と一体になって協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みづくりを進めていくものです。具体的な役割、機能については、文部科学省資料から引用した下の図をご参照ください。

発足に当たり、右の表に示した方に委員をお願いしました。委員の方から忌憚のないご意見をいただき、協働していく中で、今後とも「より良い六中づくり」を進めてまいりますので、保護者の皆様もよろしくようお願い申し上げます。

区分	役職名	氏名
学識経験者	東京大学大学院教授	中村高康氏
	東京女子体育大学教授	美谷島正義氏
地域代表	向丘青少年健全育成会会長	西脇繁和氏
	東大農学部前自治会会長	塚本健氏
	文京区立誠之小学校校長	穴戸敏和氏
	文京区立第一幼稚園長	田村秀子氏
	第六中学校同窓会会長	柳田誠氏
	文京区青少年委員	市野瀬祥子氏
	地域学校協働本部コーディネーター代表	太宰麻里子氏
保護者代表	第六中学校PTA会長	江島彰弘氏
	第六中学校PTA副会長	中越真理子氏
	第六中学校PTA副会長	瀧田巖陽氏
	第六中学校PTA副会長	間々田亜子氏
学校教職員	第六中学校校長	小椋孝
	第六中学校副校長	高橋幸男

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



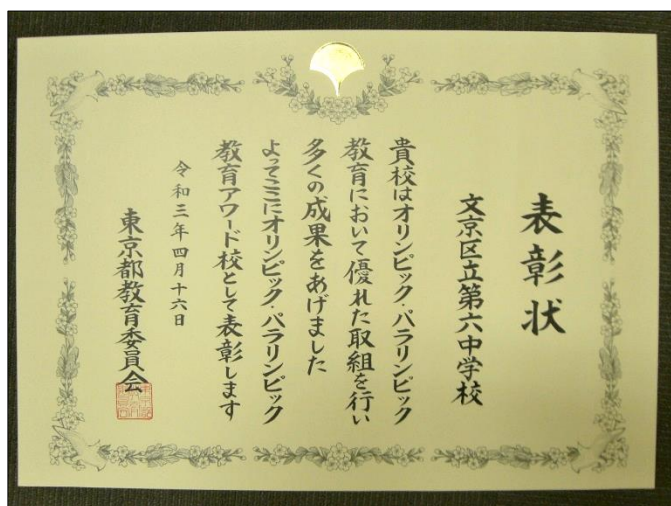
東京都教育委員会「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」の指定

東京都教育委員会では、前年度に優れたオリンピック・パラリンピック教育を行った学校・園の取組を顕彰し、その取組を今後更に充実させるとともに、成果を広く普及・啓発することにより、この取組をより一層推進することを目的として「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」を指定しています。

令和3年度は、右の表のように全都で135の学校・園が指定されていますが、第六中学校の令和2年度における取組が評価され、「令和3年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として指定の栄誉を受けました。

下の表彰状と顕彰記念認定証に記されているとおり、4月16日に指定を受けていますが、2020東京大会の開催が危ぶまれたことや、学校観戦プログラムが中止されたことなどの理由からこれらの顕彰スケジュールが大幅に遅れ、12月16日（木）にやっと顕彰記念認定証が届き、ご披露できることになりました。顕彰記念認定証（盾）をしばらくの間、職員室のカウンターに飾っておきますので、生徒の皆さんもぜひ間近でご覧ください。

指定校・園の校種	校数
幼稚園・こども園	2
小学校	96
中学校	19
義務教育学校	2
高等学校	5
中等教育学校	1
特別支援学校	10
計	135



<アワード校 表彰状>



<アワード校 顕彰記念認定証（盾）>

<第六中学校／令和2年度における主な取組>

- 1 「夢・未来プロジェクト」によるオリンピック高橋礼華さんとの交流・講演会の実施（各学年）
- 2 日本の伝統・文化を学ぶ「伝統文化体験（1年）」「歌舞伎教室（1年）」の実施
- 3 日本の伝統・文化を学ぶ「百人一首大会（1・2年）」の実施
- 4 「命の大切さ」と「ボランティアマインド」を涵養する道徳授業地区公開講座（各学年）
- 5 全校生徒による医療従事者の方々への感謝の手紙の送付
- 6 生徒会活動による取組推進
 - (1) 愛のはがき運動によるはがきと切手の収集
 - (2) ペットボトルキャップの回収
 - (3) 学校近隣の落ち葉掃き活動
- 7 ボランティア部及び部と生徒会、委員会との協働による取組推進
 - (1) 全校生徒分のフェイス・シールドの制作（保健委員会との協働）
 - (2) 教室の換気と保温との両立を図る窓スペーサーの制作
 - (3) 高齢者施設、保育園・幼稚園への手作り布マスクの贈呈
 - (4) 高齢者施設への千羽鶴の贈呈
 - (5) 保育園・幼稚園への手づくりメダルの贈呈
 - (6) 地域の方の目を楽しませる「花いっぱい活動」への取組
- 8 給食における学期1回の「和食の日」「ドイツ料理の日」の取組による国際理解教育の推進
- 9 英語科による国際理解教育をはじめとした各教科、領域における取組推進

